

令和2年度 美郷町立田代小学校「学校関係者評価書」

4段階評価 4＝期待以上 3＝ほぼ期待通り 2＝やや期待を下回る 1＝改善を要する

数字は平均値

項目	評価指標	保護者	職員	改善点及び具体的取組	自己 評価	学校関 係者 評価	学校関係者評価コメント
知 育	1 学校は、課題意識をもち、子どもたちの学力向上に努めている。	3.4	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・「学び合い」の授業研究実践 ・全職員による研究授業を実践 ・重点支援校指定による授業力向上 	3	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参観日も両親での参加も多く保護者の熱心さを感じた。授業も様々工夫され、一人一人に気配りされた授業で、子ども達も輝いていた。 ○ 少人数を活かした個々に届いた指導ができています。 ○ HPを見ても様々な体験学習も行われており、先生方の研究研修努力を感じた。 ○ 宮日掲載を楽しみにしています。豊かな感性や素直な心を感じます。
	2 学校は、子ども一人一人の理解に努め、個に応じた、きめ細かな指導を行っている。	3.4	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導体制や学習支援の配置 ・特別支援教育の充実 			
	3 学校は、子どもに自信をつけさせるために、作品応募や発表など、活躍する場を与えている。	3.4	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や集会等での活躍の場の確保 ・新聞や県文集への積極的応募 ・各種作品展への応募 			
徳 育	4 学校は、あいさつができる子どもの育成に努めている。	3.3	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・登校時の校門でのあいさつ指導実施 ・全校朝会、朝の会等での啓発 ・教師から進んであいさつ 	3	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校内でのあいさつは完璧。友達同士のあいさつがもっとよくなると良いと思います。 ○ 読書は学校での指導以外にもボランティアや図書館の充実で図書好きが増えていると思う。 ○ リモートの朝会では、それぞれの担当の先生が分かりやすく話されていて、子ども達にも伝わっていると思う。 ○ 教育相談など改まった場でない時もたくさん子どもの声に耳を傾けてもらいたいです。 ○ 花壇や環境もすばらしかった。
	5 学校は、いじめのない環境と思いやりのある子どもの育成に努めている。	3.4	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとのいじめアンケートやハートフル報告会の実施 ・教育相談や道徳教育の充実 			
	6 学校は、豊かな心を育むために、読書活動の充実に努めている。	3.5	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの方々との読み聞かせ ・共同学校事務室(※)による読書支援 ・みさと文庫の活用 			
体 育	7 学校は、子どもたちの体力向上・健康増進に努めている。	3.3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上プランの活用 ・授業での運動時間の確保 	3	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍での運動会でしたが、精一杯力を出し、楽しい運動会だった。半日開催ではあったが子どもは満足しており、保護者からも好評だった。 ○ 持久走も運動会も積極的に取り組んでいた。 ○ 給食試食会の食育の話がよかった。定期的な開催をして欲しいくらいです。 ○ 食育の充実を感じた。
	8 学校は、子どもたちに「早寝、早起き、朝ご飯」の習慣が身に付くよう、家庭と連携を図っている。	3.3	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムカードでの実践 ・保健だよりの活用 ・養護教諭の授業参加(低学年) 			
	9 学校は、食に関する適切な指導に努めている。	3.4	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する授業実践 ・栄養教諭の活用 ・学校保健委員会での取組 			

項目	評価指標	保護者	職員	改善点及び具体的取組	自己 評価	学校関 係者 評価	学校関係者評価コメント	
連 携	10	学校は、幼小一貫教育（連携型）のよさを生かした取組を充実させている。	3.3	3.5	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練、持久走大会等の実施（幼小） 中学校教諭の乗り入れ授業（体育） 合同運動会の実施（幼小中） 	3	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼小よく交流している。学校行事もコロナ禍の中、充実していたと思う。 ○ HPは毎日のように更新されていた。子どもの様子がよく分かり非常によかった。学校通信も地域への情報提供に必要で、住民の学校への理解を得る手段として有効だと思う。 ○ コロナ禍で学級懇談の時間が少なくなったのは残念だったが、連絡帳を通して丁寧に対応していた。
	11	学校は、保護者や地域の願いに応える教育活動を積極的に行っている。	3.2	3.3	<ul style="list-style-type: none"> P T A 理事会の充実 学級懇談の充実 			
	12	学校は、保護者や地域の方々へ学校の様子をホームページや学校通信等を利用した広報活動に取り組んでいる。	3.5	3.8	<ul style="list-style-type: none"> 学校通信の配付（地域・保護者） ホームページでの学校の様子配信 			

※ 共同学校事務室～町内の事務職員が協力して学校支援を行う。

【 総 評 】

1 本年度の取組

- 児童が「分かる！・できる！」をより実感できる授業を目指して、今年度も県の重点支援校として全員が年2回以上の学校訪問を受け、授業改善について学び、実践してきた。県教育委員会が示す授業改善のポイントを意識し、思考力の深め方、対話の進め方、特別支援教育の視点を取り入れた授業形態など個人の課題解決に近付いたことが、児童の意欲向上、学力向上につながった。児童の実態を踏まえ、少人数の良さをより活かしながら、今後も教員一人一人が授業力向上に努め、児童の学力向上につなげていきたい。
- 校内での児童の様子を見ると「あいさつ・会釈」を進んで行き、自然と身に付いている児童が多い。ただ、校外でのあいさつ、友達同士のあいさつは十分とは言えず、学校の課題として捉えている児童もいる。あいさつの意味をきちんと考えさせ、自ら進んで、相手に伝わるあいさつを心掛けるよう、今後も学校全体の課題として取り組んでいきたい。
- 家庭と連携した様々な取組や声かけ、保護者との面談などを通して、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）の意識の高まりを見られた。健康状態の安定にもつながり、欠席児童が少なかった。
- 学校の様子を積極的に配信し、ホームページは200回を超えるニュースをお知らせできた。学校よりも保護者、地域の方から評判が良い。これからも、学校や児童の様子を積極的に配信したい。
- 今年度はコロナ禍のため、多くの行事が中止、短縮などになったが、そうした中でも前向きに捉え、できることを子どもと一緒に考えながら実践できた。来年度は西郷義務教育学校としてスタートする。今まで以上に地域に開かれた学校、児童の笑顔いっぱいの学校をめざし、家庭・地域と連携して多くの行事に積極的に取り組み、よりよい学校作りを目指したい。

2 次年度への改善に向けて

- 義務教育学校の良さを活かして、児童が生き生きと生活できる学校の雰囲気作りに全力で努めたい。
- 学力向上は今後も学校の大きな課題として、少人数を活かした授業改善や環境整備に取り組んでいく。
- 学校の課題は保護者をはじめ地域と共有し、コミュニティスクールの整備を図り、西郷地区で児童を育てていく雰囲気を今年以上に作っていく。

